

DISTRICT 2500 OBIIHIRO ROTARY CLUB

方針 友情と信頼

会長 後藤 裕弘

No. 2906

第3224回例会

平成22年10月6日

2010-11年度 国際ロータリーのテーマ
BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS
(地域を育み、大陸をつなぐ)

■プログラム

職業奉仕委員会

「大学概要と帯広畜産大学基金」

帯広畜産大学 学長 長澤 秀行 会員



今日はお越し下さいましてありがとうございます。今、画面で正門のところを見ていただいていますが、1年前まではこの両脇に古い塀がありました。現在は正門の形も変え帯広畜産大学という門柱も建て開放感を出し、「どうぞ自由にお入りください」という雰囲気を出しました。ここの花壇は学生の実習の一環でメンテナンスをしています。

大学の使命は、「教育」「研究」「社会貢献（地域貢献）」の3つです。教育や研究だけではなく、社会貢献も重要な位置付けだということを、法律「学校教育法」で改めて示されています。しかし大学の役割というものがなかなか理解されていません。特に国立大学については国のお金でまかなっているのですが、地域のために何をやっているのかわからないということをよく聞きます。経済界からも「大学で受けた教育は社会であまり役に立たないのでは」という意見があるので、国としても予算を投入する意味があるのかという声も聞かれてしまいます。全国には国立大学が86大学ありますが、その学長で組織している「国立大学協会」というものがあります。社会に国立大学の役割がまだよく知られていないため、この協会ではその役割を社会にアピールするため10月11月の2カ月間“国立大学フェスタ2010”を開催する企画をしています。いろいろなところで一般の方々に「国立大学とはこういうところです」ということを説明し理解を求めるという企画です。また、今政府は様々な政策についてパブリックコメントで意見を求め、どの政策が重要かというコンテストをしています。その結果により予算を決めていくという取り組みです。文科省分では、学校施設の整備や小学校1、2年生の35人学級の実現、学費の無償化など、10項目があります。ぜひ皆さんにも意見を寄せてもらいたいと思います。

今は大学の外側も変わっていますが、中もかなり変わってきています。出席も8割ないと試験が受けられず、学生証で出席をとるので代返もできません。15回の授業が義務付けられており、休講の後の補講にも

学生は積極的です。授業料も高くなりましたが、教育の内容も質も、いろいろなものも大きく変わっています。

ここかしわプラザの名前は、当初公募を行いました。いろいろな名前がありましたが、結局“かしわプラザ”になりました。ここはほんとうにいい景色です。きのうも大学評価委員会の方が来ていて学内視察をしていましたが、自然環境がすばらしいと大変うらやましがられました。畜大的特色は広大な土地であり、東京ドーム40個分もあります。筑波大学に次いで2番目の広さですが、人口密度からすると日本一です。この土地は隣の農業高校も含めて、中村善右衛門さんが開拓した土地を善意で戴いたものです。入口に顕彰碑があり、ここに記載をされています。時間があれば一度見てください。

かしわプラザの東側に大学生協があります。生協は1階が売店で2階が食堂になっています。かしわプラザをはさんで研究室や講義室のある棟と通路でつながっているので、雨や雪の日でも濡れることなく生協に来られるようになっていますし、図書館にもつながっています。大学生協は一般の方も利用できます。図書館も一般開放しています。帯広図書館も立派になり蔵書も増えていますが、大学の図書館は農学関係の学術図書やデータ類がかなりあります。

学生の活動について紹介します。体育会系では、ラグビー部、ソフトテニス部、馬術部、カーリング部などのサークルがあります。馬術部は歴史があります。いつも上位を占める明治大学などは立派な高い馬を入れて勝ち抜いていますが、畜大的馬術部は競馬の払い下げの馬を調教してTOP10に入っており大変努力をしています。文化系ですが、TVでもいろいろ取り上げられている「うしぶ」があります。畜大牛乳はうしぶというサークルが手伝って生産しています。サークルとはいっても、先輩から技術をきちんとマスターして合格しないと牛にさわれません。朝の5時から夜の搾乳まで手伝ってくれており、大学からも謝金を出しています。他にシープクラブ、マンドリンサークル、ゼニガタあざらし研究グループ、スタディサポートサークル、RBAちくだい、ばんえい研究会、ダンスサークルなどがあります。また、一般の方へのインフォメーションや学生間の

相談などを行うかしわプラザサポートーズというサークルや、就職の内定が決まった先輩が後輩に就職に関する基本的なことを教える就職応援団などもあります。

大学の役割をきちんと認識し、コンプライアンスにおいても改善しなければならないところがたくさんあります。特に畜大のような地方大学は、地域に利用価値を認めていただかないと存在意義がなくなります。大学の役割は3つありますが、すべて“人材育成”です。学生だけではなくいろんな人材が大学にはいるので、それをいかに利用してもらえるかというところで大学は評価されるのではないかと思っています。最後になりますが、帯広畜産大学基金というものがあります。もし賛同いただければ個人会員・団体会員どちらでも結構ですので、基金の方によろしくお願ひしたいと思います。

本日は大学の紹介をさせていただき、ありがとうございました。



■会長報告



先週はRI3330地区のタイロータリーのお客様がお越しになり、中標津の長谷川元会長も交えて40名程でしたがマッチンググランドの思い出を語りながら、とても楽しく国際交流が出来、友情を育むことができたと思っております。ご参加いただいた皆様には心からお礼申上げます。ありがとうございました。

また、1日から3日まで西クラブの主管で開催された地区大会には、全員登録にご協力いただき誠にありがとうございました。残念ながら実質の参加者が少なめで、2日目の参加クラブ紹介では多少寂しい感じも致しましたが、進行上の小さなミスはともかく内容的には実のある大会だったと感じております。

RI2680地区姫路ロータリーの安平和彦パストガバナーのお話にあった「ロータリーは土壤であり、入会することは種をまくことだ。幹を育て、枝葉をつけ、大

木になるためには、入会してから勉強して友人をつくり質の高い奉仕をすることだ。」というお話はとても分かりやすい説明だったと感じました。

また、渡辺好政RI会長代理はじめ、地区内パストガバナーからも何度も決議23-34の話が出ておりましたが、やはり23-34はロータリーの真髄だと思います。英文直訳のためか分かりにくい文章ですが、読まれていない方はぜひお読みになっていただきますようお願い致します。

さて、今月は職業奉仕月間と米山月間でございます。第一回目の今日の例会は、市内唯一の最高学府であります帯広畜産大学に移動例会とさせていただきました。帯広に住んでいても畜大の構内に入ることは滅多になく、畜大のことを意外と知らないのではないかと思います。長澤学長には「大学の概要と帯広畜産大学基金」についてご講演いただきます。どうかよろしくお願ひ致しまして会長報告とさせていただきます。

■ビジター紹介

RI第2500地区米山奨学生 齊 光男（サイ・コウナン）様
■会務報告 講岐 武史 幹事

(1)帯広西RC、移動例会（職場訪問）開催のご案内

日 時 10月7日（木）午後0時30分

場 所 あんじゅ音更・あんじゅロータス音更

(2)帯広北RC、移動例会（育樹）開催のご案内

日 時 10月15日（金）午後0時30分

場 所 北の杜

(3)帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 10月19日（火）午後6時30分

場 所 十勝乃長屋

(4)帯広南RC、移動例会（職場訪問）開催のご案内

日 時 10月20日（水）午後0時30分

場 所 明治北海道十勝オーバル

※尚、10月18日（月）の繰下げ例会と致します。

(5)帯広西RC、夜間例会（ガバナー公式訪問）開催のご案内

日 時 10月21日（木）午後6時30分

場 所 北海道ホテル

(6)帯広東RC、移動例会（職場訪問）開催のご案内

日 時 10月26日（火）午後0時30分

場 所 河合鉄工（株）工場

(7)帯広北RC、10月29日（金）は休会と致します。

■次週プログラム予定

10月13日「米山記念奨学委員会」（米山記念奨学委員会）



例会日／水曜日 12:30～13:30

例会会場／ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立／昭和10年3月15日 ●認証番号／3820

●戦後再開／昭和25年12月19日

事務局／帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行／クラブ広報

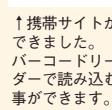
●委員長／倉野 賢

安岡美樹夫・池田 雄一・佐藤 有宏・宮坂 寿文

石原由美子・清田 幸孝・後藤 利之・高見 英樹

堀江 威光

●ホームページアドレス／<http://www.obihiro-rc.jp>



↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む事ができます。

ロータリーミニ見に情報

バナーはクラブの表徴

1910年シカゴで第1回のロータリー全国大会（米国のみ）が開かれた。その時、16クラブが集まり「クラブ名を大書した同一の三角形」のもので自己のクラブを発表し合った。

その後クラブバナーはクラブの形態・規模・活動を表すものとなり、所在地区やクラブの特徴などを図案化して表示し、自己クラブの誇りとし、表徴的存在になっていった。

世界のクラブは競って立派なものを作り、クラブの顔としている。現在の帯広のバナーは3代目である。